

・事業名称

清田区民センター移転・整備事業

・事業場所

札幌市清田区平岡1条1丁目2-1

・敷地面積

約25,733㎡

・延べ面積

約2,400㎡

・用途

1階 : 区民センター
1、2階 : 図書館

・工事期間

2027年～2029年度

・供用開始予定

2029年度

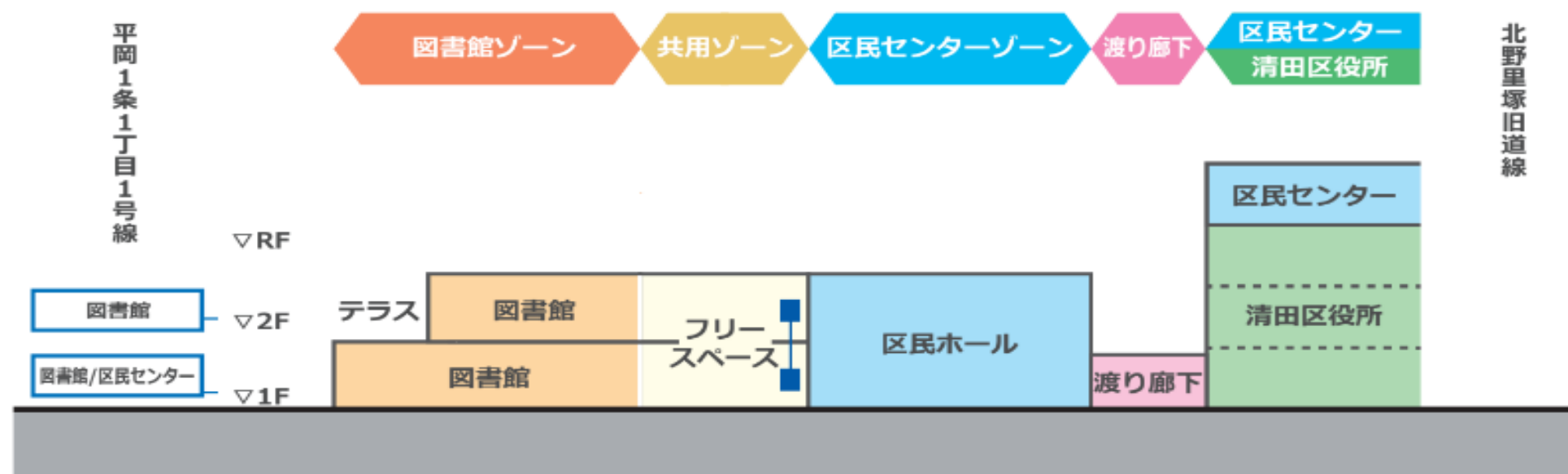
計画地



※上記内容は現時点のものであり、今後変更となる可能性があります。



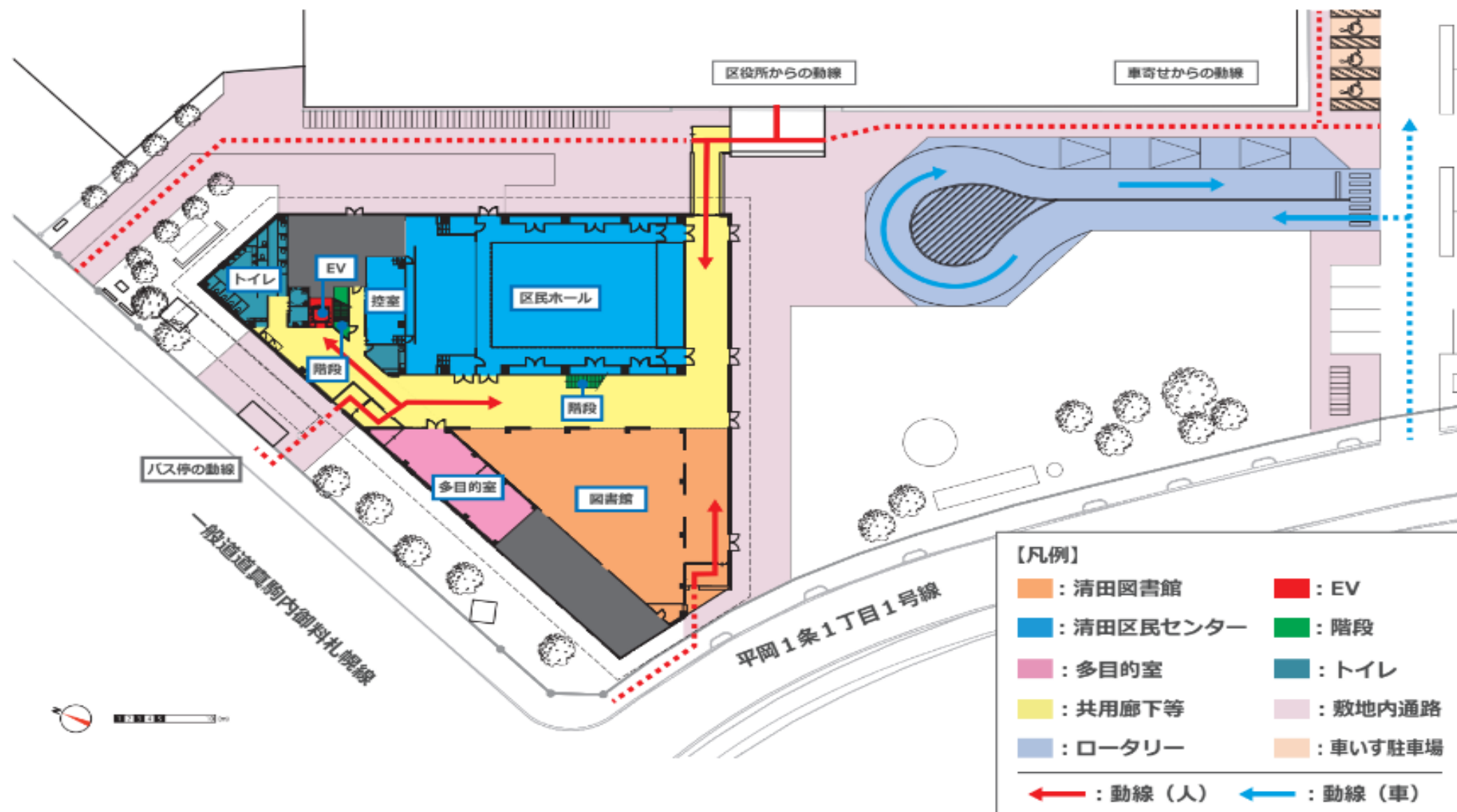
※上記内容は現時点のものであり、今後変更となる可能性があります。



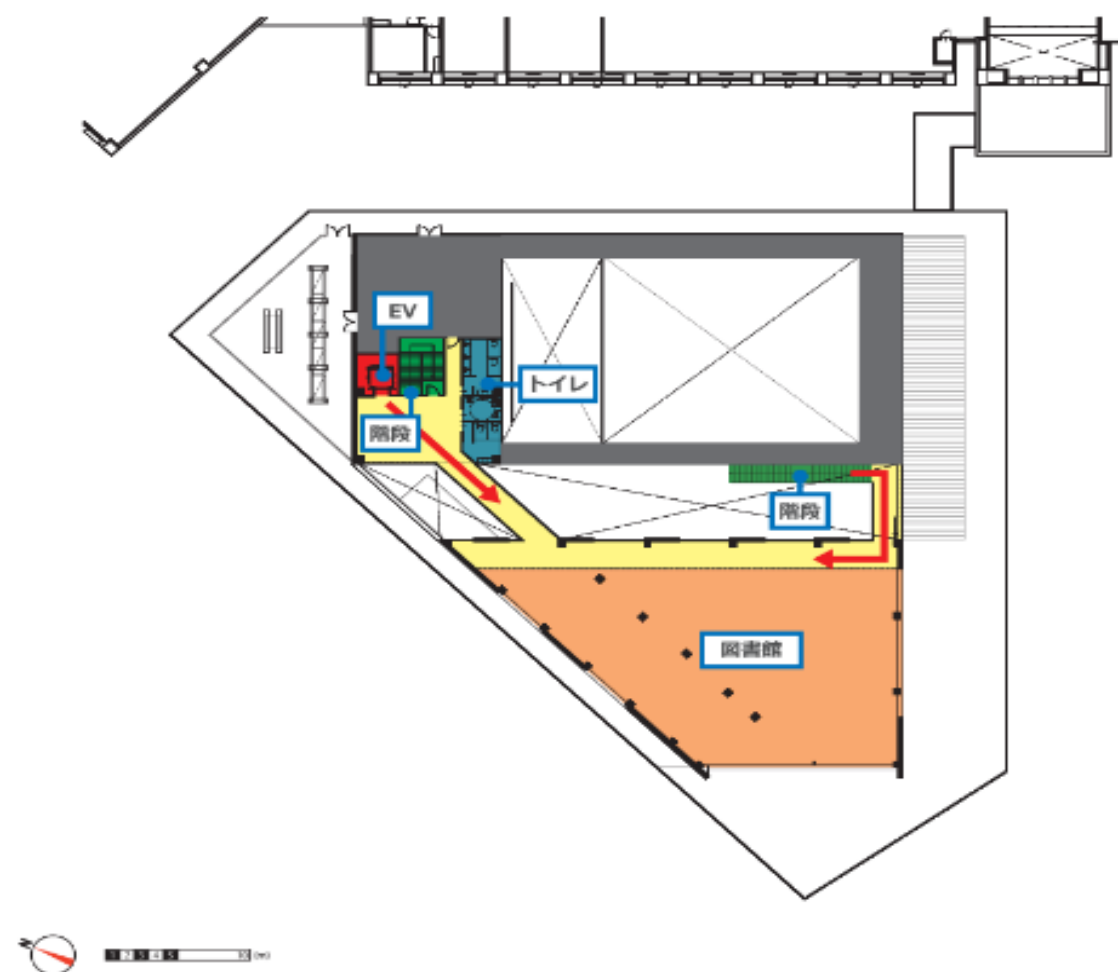
【凡例】

- : EV (利用者/職員)
- : 全体共用部
- : 清田図書館
- : 清田区役所
- : 清田区民センター
- : 渡り廊下

※上記内容は現時点のものであり、今後変更となる可能性があります。



※上記内容は現時点のものであり、今後変更となる可能性があります。

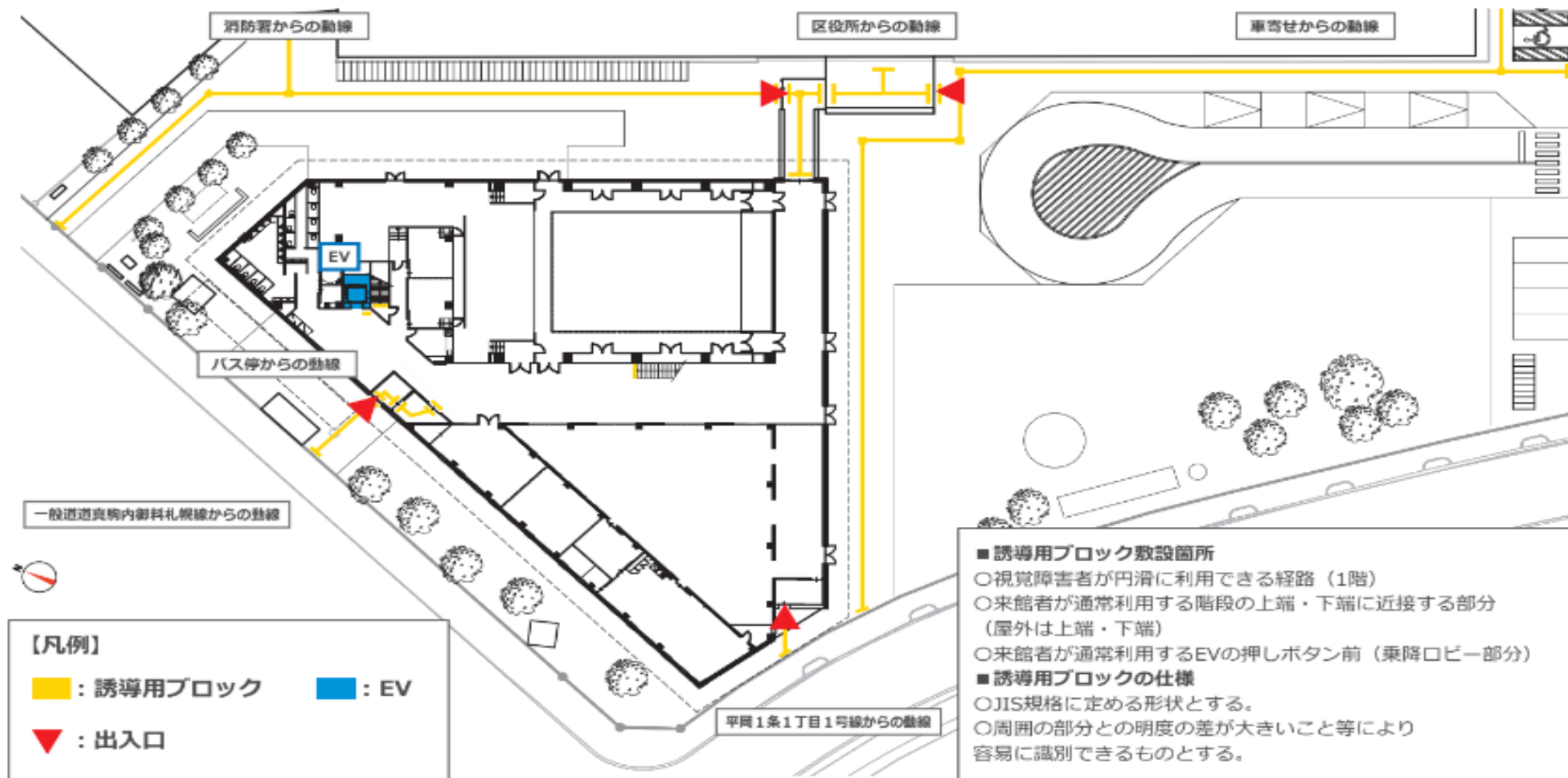


【凡例】

- | | |
|--------------|------------|
| ■ : 清田図書館 | ■ : EV |
| ■ : 清田区民センター | ■ : 階段 |
| ■ : 多目的室 | ■ : トイレ |
| ■ : 共用廊下等 | ■ : 敷地内通路 |
| ■ : ロータリー | ■ : 車いす駐車場 |
| ← : 動線(人) | ← : 動線(車) |

※上記内容は現時点のものであり、今後変更となる可能性があります。

一般道道真駒内御料札幌線、平岡1条1丁目1号線、区役所、消防署からの動線に配慮して誘導用ブロックを敷設する。



※その他の階は「階段の上端・下端」「EV押しボタン前」に適切に設置する。

※上記内容は現時点のものであり、今後変更となる可能性があります。

1.大便器手すり

- 高齢化社会に配慮し全ブース設置を検討する。
- 手すりが必要な方がブースを選ばなくて済む
- 多機能トイレの機能分散・混雑緩和（多機能トイレの車いす利用者専用化）

2.小便器手すり

- 高齢者・ケガ人への配慮として1カ所設置する。
- 入口に最も近い小便器に設置

3.洗面器手すり

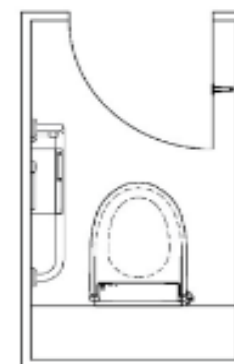
- 高齢者・ケガ人への配慮として1カ所設置する。
- 大便エリアから最も近い洗面に設置

4.一般トイレ内多機能大便ブース

- 乳幼児連れへの配慮としてベビーチェア・フィッティングボード及びオストメイト対応の汚物流し又はしびん洗浄水栓付腰掛便座を併設した広めブースを主要なトイレに設置することを検討する。
- フィッティングボードは立位でのオムツ替えに利用
- オストメイト対応の汚物流し又はしびん洗浄水栓付腰掛便座を設置
- 多機能トイレの機能分散・混雑緩和

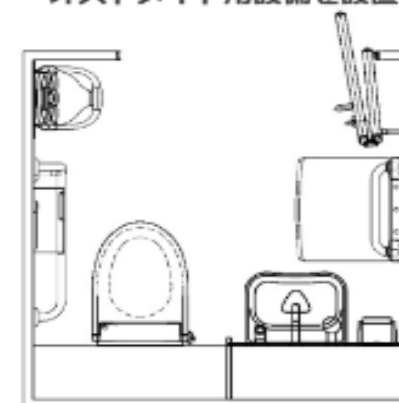
一般大便ブース

全てに手すりを設置



多機能大便ブース

手すり・ベビーチェア・
チェンジングボード・
オストメイト用設備を設置

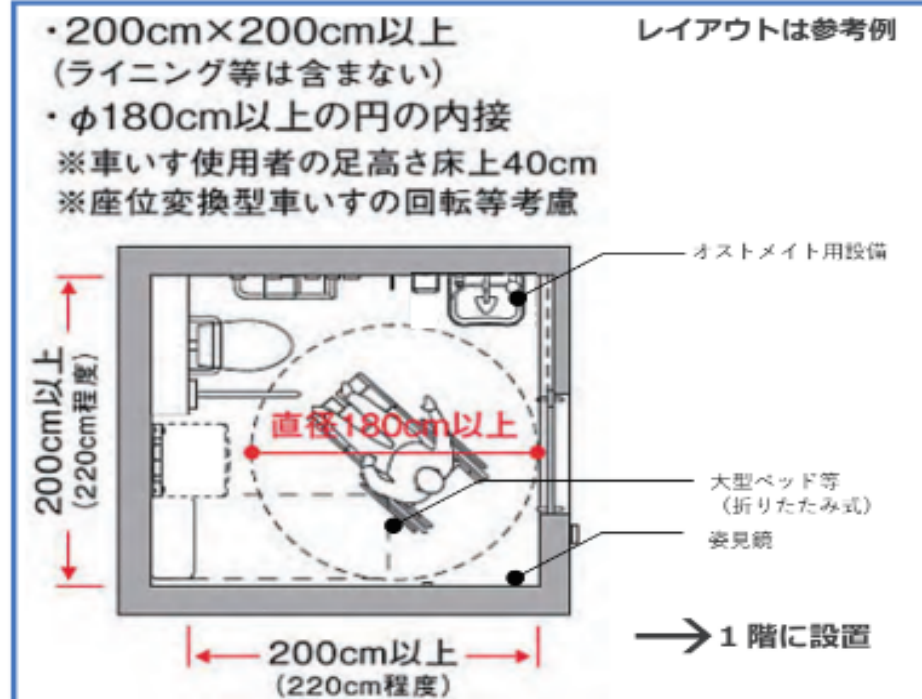


※上記内容は現時点のものであり、今後変更となる可能性があります。

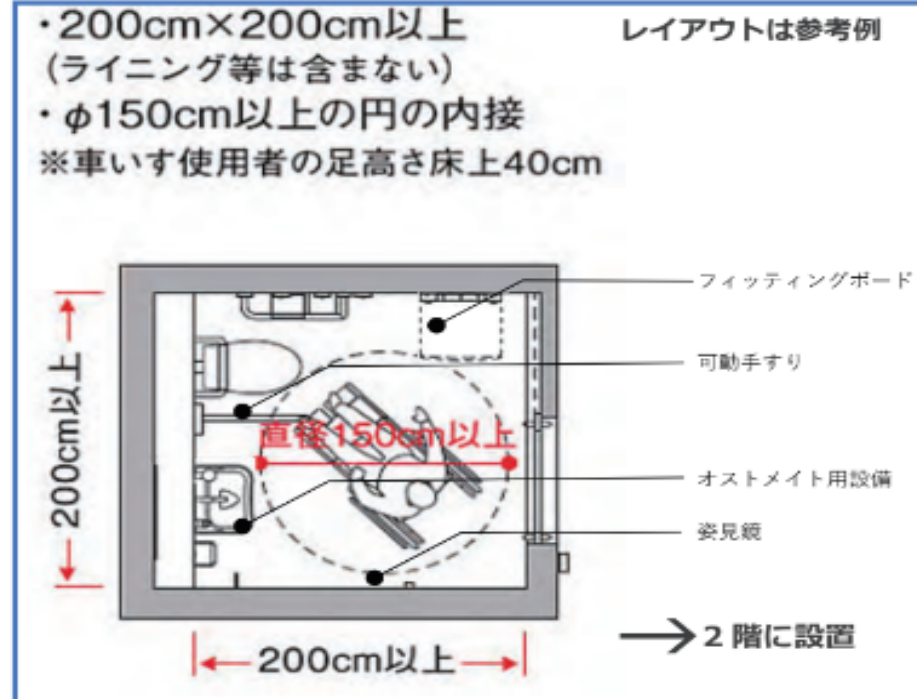
多機能トイレの機能を男女一般トイレ内に分散配置し、多機能トイレを車いす利用者が利用しやすい計画とする。

- ベビーチェア・フィッティングボード・オストメイト対応の汚物流し又はしびん洗浄水栓付き腰掛便座を一般トイレの一部へ設置する
- 多機能（車いす利用者用）トイレは「大型ベッド+オストメイト対応の汚物流し付」・「オストメイト対応の汚物流し付」の2パターンを設置する

多機能トイレ※1（大型ベッド+汚物流し付）



多機能トイレ※2（汚物流し付）

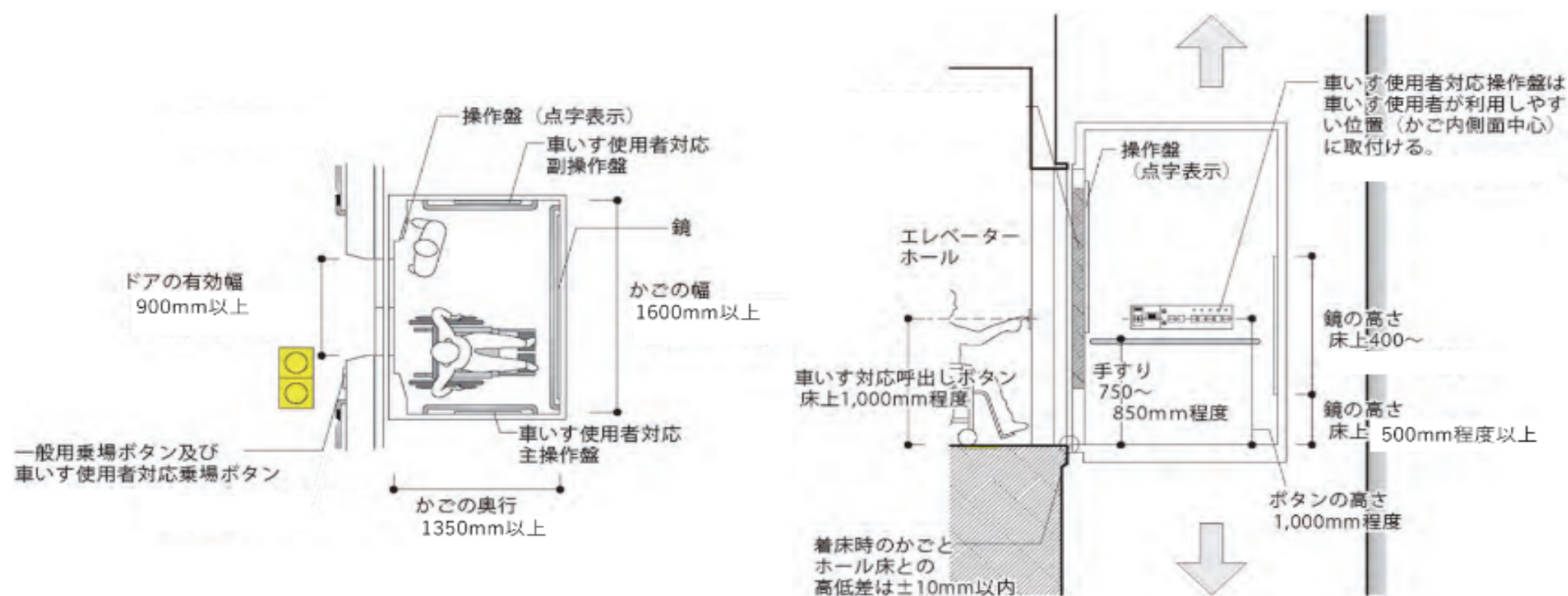


来庁者の出入りの多い1階には「大型ベッド+汚物流し付」を設置し、2階には「汚物流し付」を配置する。
多機能トイレ内には音声案内装置の設置を検討する。

※上記内容は現時点のものであり、今後変更となる可能性があります。

来館者が利用するEVは、13人乗り(かごW1600mm×D1350mm)、ドア幅900mmとする。
 ※バリアフリー関連法規上の最低限度は11人乗り(かごW1400×D1350)以上、ドア幅800mm以上

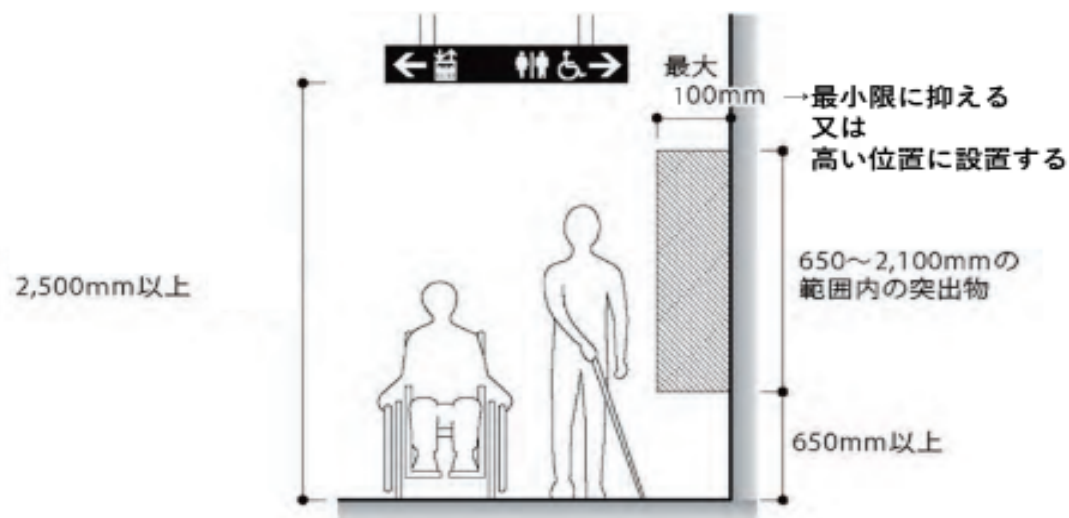
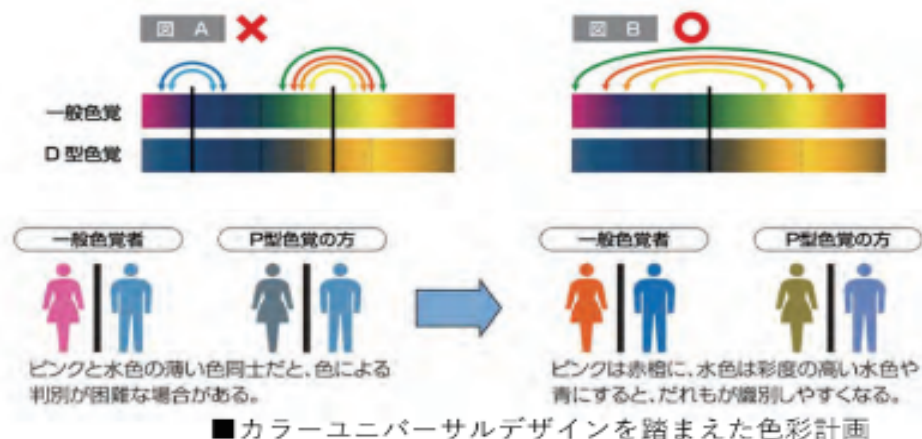
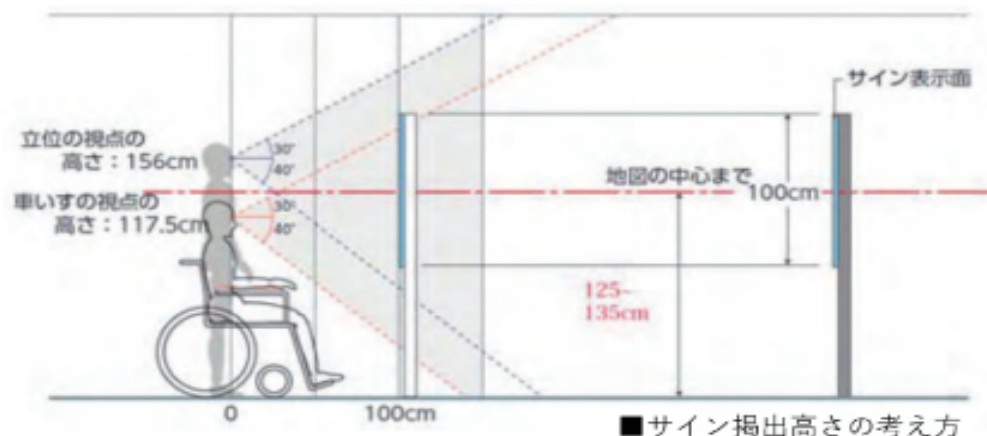
到着階や戸の閉鎖・かごの昇降方向を知らせる音声案内装置及び表示装置付きとする。



※上記内容は現時点のものであり、今後変更となる可能性があります。

障がい者、子ども、外国人などの全ての来館者に分かりやすいサインとする。

■多言語表記、ピクトグラムによる誰にでも分かりやすい表現



■通路の突出サインの考え方

※上記内容は現時点のものであり、今後変更となる可能性があります。

文字の色と背景の色との組み合わせを配慮する



色の明度と彩度の差を利用する



色の面積を広くする

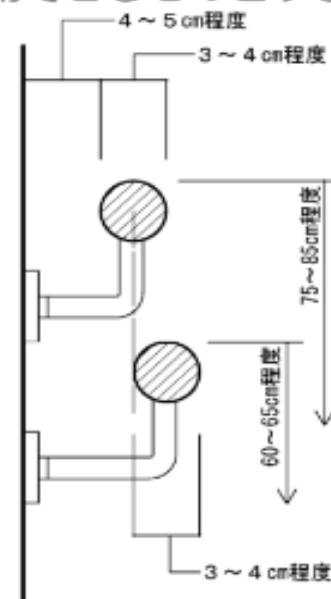
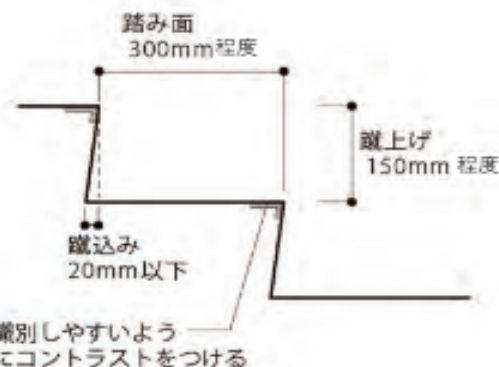
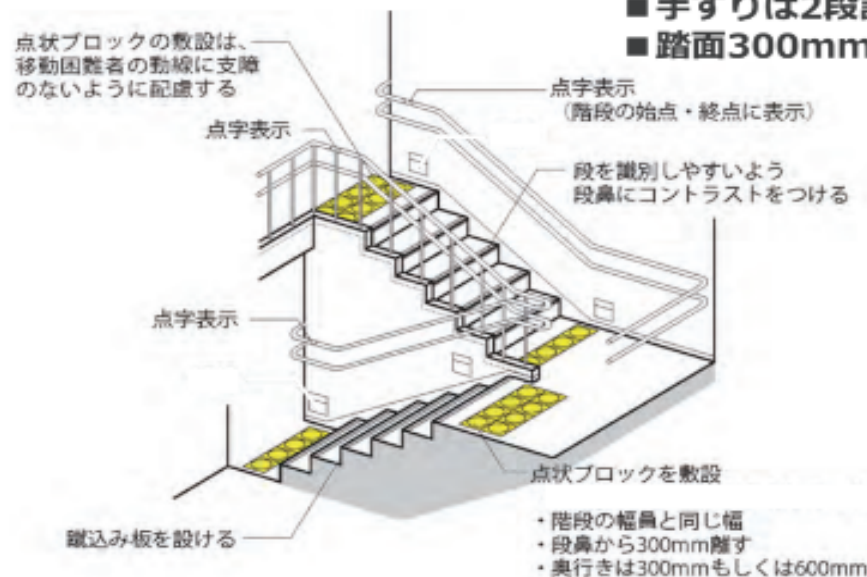
中央区 → 中央区

■明度や彩度の対比を考慮した見やすいサイン

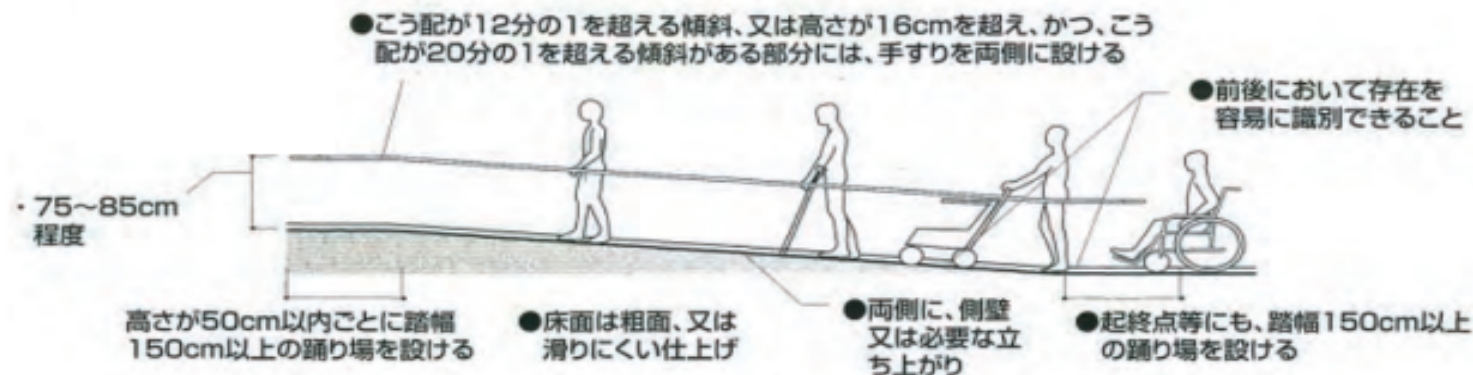
来館者が通常利用する屋内・屋外の階段は高齢者や子ども等が安全かつ効率的に利用できるものとする。

■手すりは2段設置する（階段の始点・終点に点字表示）

■踏面300mm、蹴上150mm程度とする



来館者が通常利用する屋外スロープを設ける場合は、通行のしやすさを第一に勾配1/20以下且つ融雪対応、屋内スロープは、スペース効率を踏まえ勾配1/12以下とする。



※上記内容は現時点のものであり、今後変更となる可能性があります。